



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所
コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 西本 實男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 高橋 正弥

TEL 045-477-5231

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,215	20.3	△362	—	△896	—	△941	—
23年3月期第2四半期	8,494	89.5	△411	—	△575	—	△646	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,384百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △835百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△21.22	—
23年3月期第2四半期	△14.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	27,118	6,556	24.2
23年3月期	28,616	7,941	27.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,556百万円 23年3月期 7,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期の1株当たり配当予想額は、現時点では未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	31.5	800	—	500	—	300	—	6.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	47,178,956 株	23年3月期	47,178,956 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,811,807 株	23年3月期	2,807,136 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	44,369,548 株	23年3月期2Q	44,386,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 24年3月期の配当予想につきましては、今後の業績動向等を見極めつつ検討したいと考えており、現時点では未定であります。予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や原子力発電所事故による電力供給制限と急激な円高がありましたが、サプライチェーンの復旧とともに緩やかな回復基調となっております。

海外におきましては、米国経済の雇用環境改善の鈍化や欧州における財政問題等の影響があるものの、アジアを中心とした新興国における経済成長にささえられて堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、様々な顧客ニーズに対応した製品の開発、海外市場に対する販売強化、変動費の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比20.3%増の10,215百万円になり、経常損失は896百万円（前年同期は経常損失575百万円）、四半期純損失は941百万円（前年同期は四半期純損失646百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,498百万円減少し27,118百万円となりました。主な要因は、たな卸資産が1,294百万円増加した一方で、現金及び預金が2,658百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して112百万円減少し20,562百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が590百万円増加した一方で、短期借入金と長期借入金が合計で399百万円、未払法人税等が53百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して1,385百万円減少し6,556百万円となりました。主な要因は、四半期純損失941百万円及び円高に伴う為替換算調整勘定の減少424百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の27.8%から24.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2,620百万円（53.9%）減少し、2,245百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、1,837百万円（前年同期は669百万円の獲得）となりました。これは主に、たな卸資産の増加1,580百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、212百万円（前年同期は551百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出265百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、501百万円（前年同期は1,139百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入774百万円により資金が増加した一方で、短期借入金の返済による支出382百万円（純額）及び長期借入金の返済による支出740百万円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、新興国における経済成長の減速や長引く円高とタイで発生した洪水の影響等により、本格的な回復への懸念要素は払拭されておらず、不透明な市場環境が予想されます。

このような中で当社グループは、全社をあげて固定費削減を進めるとともに、開発部門においては、環境やエネルギー分野等の多様な顧客ニーズに対応した製品の開発を進め、営業部門では、経済成長が見込まれる海外市場への販売活動を強化し、生産部門においては、変動費を削減するとともに、内製化率を高め、生産性の向上を推し進めて参ります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,648	2,989
受取手形及び売掛金	5,068	5,510
商品及び製品	1,285	1,221
仕掛品	3,125	4,223
原材料及び貯蔵品	2,386	2,646
その他	358	535
貸倒引当金	△60	△52
流動資産合計	17,811	17,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,373	4,024
その他（純額）	5,264	4,880
有形固定資産合計	9,637	8,905
無形固定資産	133	119
投資その他の資産		
投資有価証券	347	316
その他	708	724
貸倒引当金	△21	△20
投資その他の資産合計	1,035	1,020
固定資産合計	10,805	10,044
資産合計	28,616	27,118
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,613	3,203
短期借入金	9,356	8,923
1年内返済予定の長期借入金	3,464	3,520
未払法人税等	144	91
賞与引当金	166	221
その他	1,325	1,097
流動負債合計	17,071	17,058
固定負債		
長期借入金	2,132	2,110
退職給付引当金	1,032	1,017
資産除去債務	78	79
その他	359	296
固定負債合計	3,603	3,503
負債合計	20,675	20,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	6,209	5,268
自己株式	△1,342	△1,343
株主資本合計	9,747	8,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	20
為替換算調整勘定	△1,844	△2,269
その他の包括利益累計額合計	△1,805	△2,249
純資産合計	7,941	6,556
負債純資産合計	28,616	27,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,494	10,215
売上原価	6,488	8,066
売上総利益	2,006	2,148
販売費及び一般管理費	2,417	2,510
営業損失(△)	△411	△362
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	3	2
物品売却益	6	11
保険解約返戻金	94	—
その他	54	20
営業外収益合計	163	38
営業外費用		
支払利息	168	148
為替差損	112	369
その他	47	54
営業外費用合計	328	572
経常損失(△)	△575	△896
特別利益		
固定資産売却益	23	2
貸倒引当金戻入額	3	—
特別利益合計	26	2
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	42	—
特別損失合計	42	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△592	△894
法人税等	54	47
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△646	△941
四半期純損失(△)	△646	△941

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△646	△941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	△18
為替換算調整勘定	△241	△424
その他の包括利益合計	△188	△443
四半期包括利益	△835	△1,384
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△835	△1,384

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△592	△894
減価償却費	573	573
賞与引当金の増減額(△は減少)	32	62
受取利息及び受取配当金	△6	△5
保険返戻金	△94	—
支払利息	168	148
為替差損益(△は益)	131	329
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	42	—
売上債権の増減額(△は増加)	426	△644
たな卸資産の増減額(△は増加)	△520	△1,580
その他の資産の増減額(△は増加)	97	△184
仕入債務の増減額(△は減少)	318	683
長期未払金の増減額(△は減少)	△3	—
その他の負債の増減額(△は減少)	165	△86
その他	△16	21
小計	721	△1,578
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△168	△147
保険返戻金の受取額	94	—
法人税等の支払額	△27	△185
法人税等の還付額	42	67
営業活動によるキャッシュ・フロー	669	△1,837
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△501	△514
定期預金の払戻による収入	216	576
有形固定資産の取得による支出	△185	△265
保険積立金の積立による支出	△89	△22
その他	8	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△551	△212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△209	△382
長期借入れによる収入	160	774
長期借入金の返済による支出	△945	△740
リース債務の返済による支出	△140	△135
その他	△4	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,139	△501
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80	△69
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,103	△2,620
現金及び現金同等物の期首残高	5,878	4,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,775	2,245

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。